

# 入試分析 社会

## 【総評】 やや難しくなり、高得点を取るのは困難！

例年通り図表を読み取る問題が多く、十分な知識と練習がないと正解することは難しい！

①は3分野の小問集合、②は世界地理、③は日本地理、④が歴史、⑤が公民、⑥が分野融合問題という構成は今まで通り。問題自体の難度はやや上がった。

## 【問題分析】

### ① 3分野融合 (1問5点×3問=15点)

問1は写真や資料をもとに地形図を選ぶ問題。問2は江戸時代に目安箱を設置するなどして改革を行った紀伊家出身の将軍を選ぶ問題。問3は刑事裁判の際、被告人の有罪を主張して刑罰を求める役割を担う者を選ぶ問題。いずれも基本問題。絶対に落とせない。

### ② 世界地理 (1問5点×3問=15点)

問1は二つの大陸に挟まれ、国土の8割が半島にある地中海性気候の国を地図から選び、その気候を示す雨温図も選ぶ完全解答の問題。問2は地図にある4つの国について、それぞれの説明文を選ぶ完全解答の問題。「世界で2番目に広い面積」「1993年に発足した組織(EU)に加盟する」「大豆やコーヒー豆の輸出国」などで答えが確定。問3は与えられた説明文に合う国と、表の選択肢答える問題。説明文中の2010-2023年の各項目の変化と日本との時差が8時間であるに注目し、この国が独立した1960年はアフリカの年であることを知っていれば正解できる。難解そうに見えるが、いずれも基本問題だ。

### ③ 日本地理 (1問5点×3問=15点)

問1は地図にある4つの県について、それぞれの説明文を選ぶ完全解答の問題。県ごとの地理の知識が必要。問2は政令指定都市や人口に関する表をもとに、中部地方が当てはまるのはどれかを答える問題。各地方の政令指定都市の数、その地方の中で最も人口が多い都市がおおまかに地図のどのあたりに位置しているかを知っていれば、正解できる。問3は記述問題。太線に囲まれた土地利用の変化と、整備された施設の共通点を資料から読み取らなければならない。与えられた情報から思考し、必要な情報を抽出して、初めて都立高入試の記述問題は正解できる。

### ④ 歴史 (1問5点×4問=20点)

問1は飛鳥時代から鎌倉時代までの道具や信仰に関する内容の並べ替えの問題。「空海」「大宝律令」「聖徳太子」「栄西」がそれぞれの選択肢が何時代かを判断する根拠となる。問2は4つの説明文を歴史順に並び替え、Bの位置(琵琶湖付近)で起こった出来事を選ぶ問題。室町時代から江戸時代にかけての問題だが、どれも基本的な内容である。問3は記述問題。資料から富岡製糸場が職人の手本のために設立されたこと、製糸場数が増加していることを読み取る。問4は大正時代から平成時代の一部を4つに分けたそれぞれの時期に合う説明文を選ぶ完全解答の問題。「東京オリンピック」「GHQによる民主化」などの内容と結び付けられれば、容易に正解できる。例年、歴史は地理や公民と比べてかなり易しい。北進でしっかり勉強して、確実に正解したい。

### ⑤ 公民 (1問5点×4問=20点)

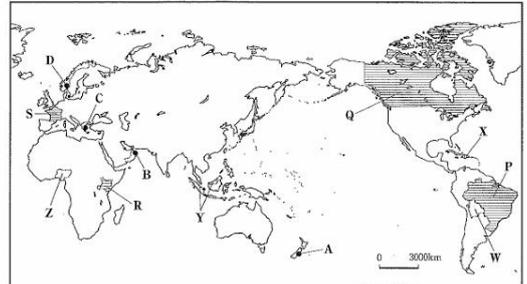
問1は国民年金法についての憲法条文を選ぶ問題。問2は説明文が公債発行額のことを述べていることがわかれば簡単な問題。問3は説明文と同じの衆議院の優越の適用のされ方を述べている事項を選ぶ問題。問4は資料よりノンステップバスを導入する際の支援を読み取り、ノンステップバスの車両数の変化を述べる問題。グラフや資料の読み取りが多いため、そこで素早く情報の取捨選択をしなければ時間が足りなくなってしまうだろう。

### ⑥ 分野融合問題 (1問5点×3問=15点)

問1はペリーが日本に向かう航路の途中で経由した4つの国について、それぞれの説明文を選ぶ完全解答の問題。問2は説明文が年表のどこに当てはまるかを答える問題。「ソ連解体後」からマルタ会談より後の出来事だと判断する。問3は訪日外国人に関する資料をもとに、文章で述べている州を選ぶ問題。東京大都市圏は東京都だけではないということに注意。複数の分野を横断して関連付けられる柔軟な学習を早いうちから心がけたい。

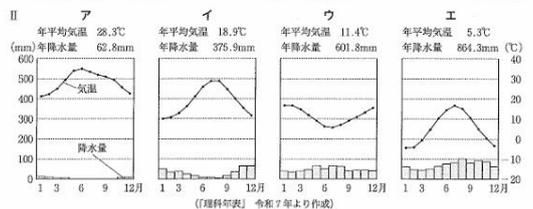
【出題例】② 問1 この問題を瞬時に解くにはどこを見るべき？

② 次の路地図を見て、あとの各問に答えよ。



【問1】 次のIの文章は、路地図中にA～Dで示したいずれかの都市を含む国の自然環境と食文化についてまとめたものである。IIのア～エのグラフは、路地図中のA～Dのいずれかの都市の、年平均気温と年降水量及び各月の平均気温と降水量を示したものである。Iの文章で述べている国に含まれる都市に当てはまるのは、路地図中のA～Dのうちのどれか、また、その都市のグラフに当てはまるのは、IIのア～エのうちのどれか。

I 二つの大陸に挟まれた東西約3800kmに及ぶ海に面し、国土の約8割は大陸から伸びる半島にあり、約2割は多くの島々からなる。小麦から作るパンを日常的に食し、冬に比べて夏に乾燥する気候を生かして栽培する果物、近海で獲る魚介類、丘陵地で育てる羊の肉や乳製品など、多様な食材を使う食文化が形成されている。



## 入試に向けての学習アドバイス

都立高入試の社会は他県の問題よりはるかに難しい。中3になってからの準備では遅い。中1は学校で習ったことを復習して忘れないようにし、中2・中3は Weekly Test などでインプットとアウトプットを繰り返しながら地理も歴史も完璧に覚えること。それが絶対合格への最短の近道だ！